

(素案)

福井市多文化共生推進プラン (第4次)

【資料編】



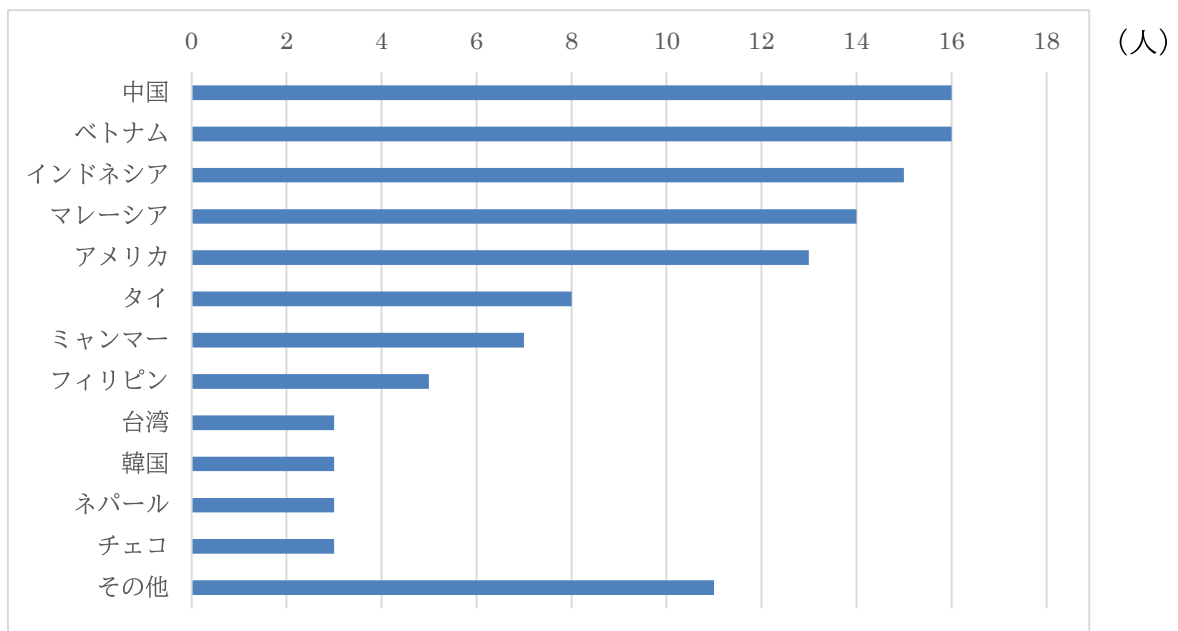
アンケート集計結果

- ①目的 福井市多文化共生推進プラン改定に係る外国人からの意見収集
- ②対象者 福井市に居住または通勤している外国人市民
- ③実施方法 日本語版（ふりがな有）、中国語版、英語版、ポルトガル語版、ベトナム語版のアンケートを作成し、調査を実施した。
- ④回収数 117 件
- ⑤実施期間 令和 6 年 6 月末～11 月末

アンケート結果について

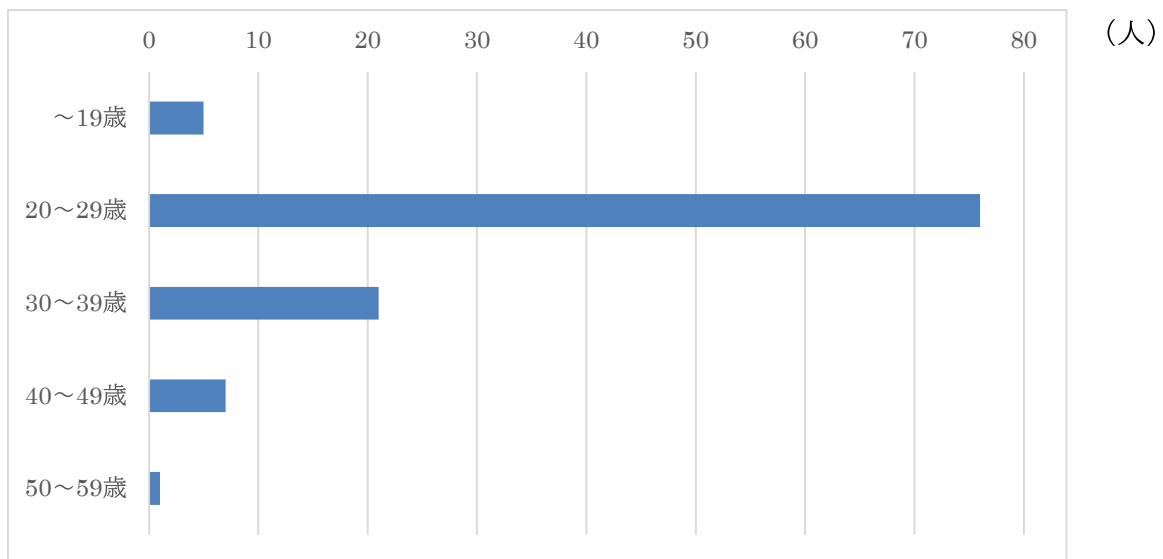
[I]対象者の属性

1. 国籍について

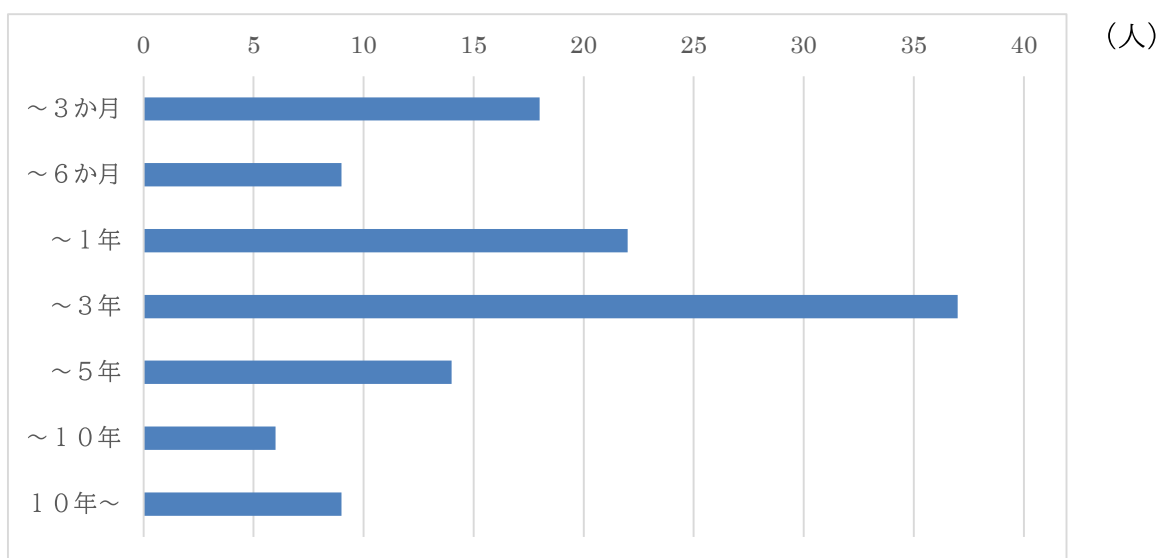


「その他」には、イタリア、インド、オーストラリア、カンボジア、ジャマイカ、フィンランド、ブータン、フランスがあった。

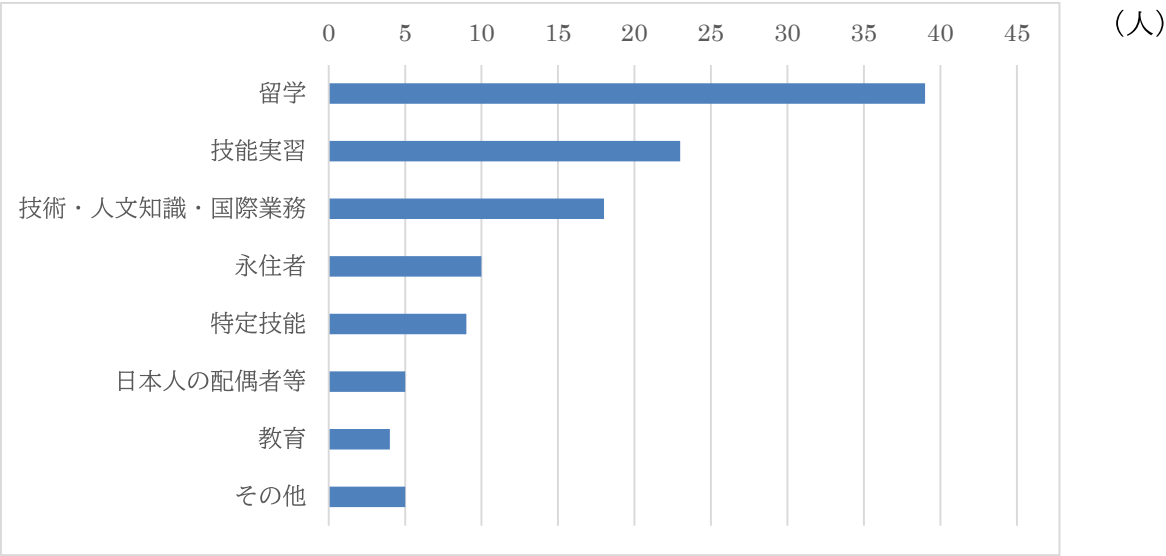
2. 年齢について



3. 来日してからの期間

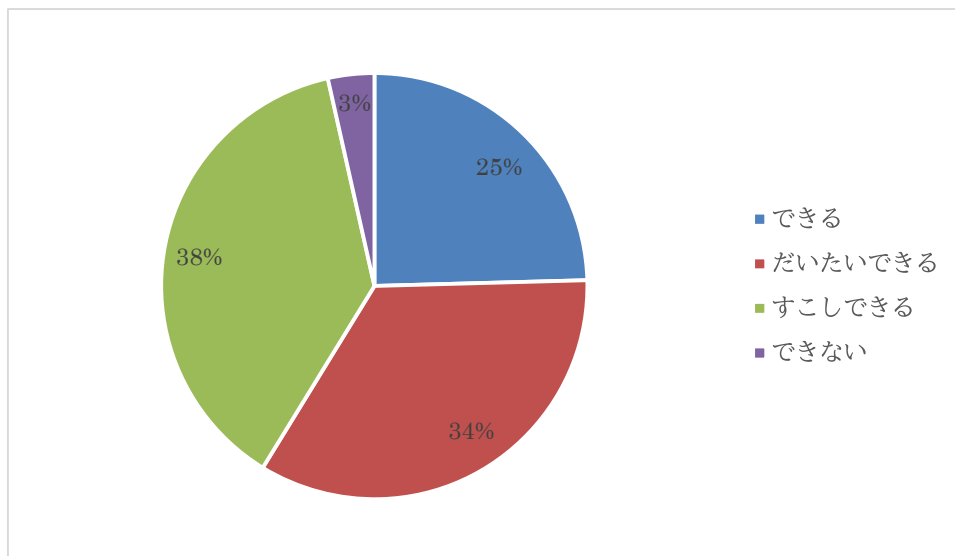


4. 在留資格について

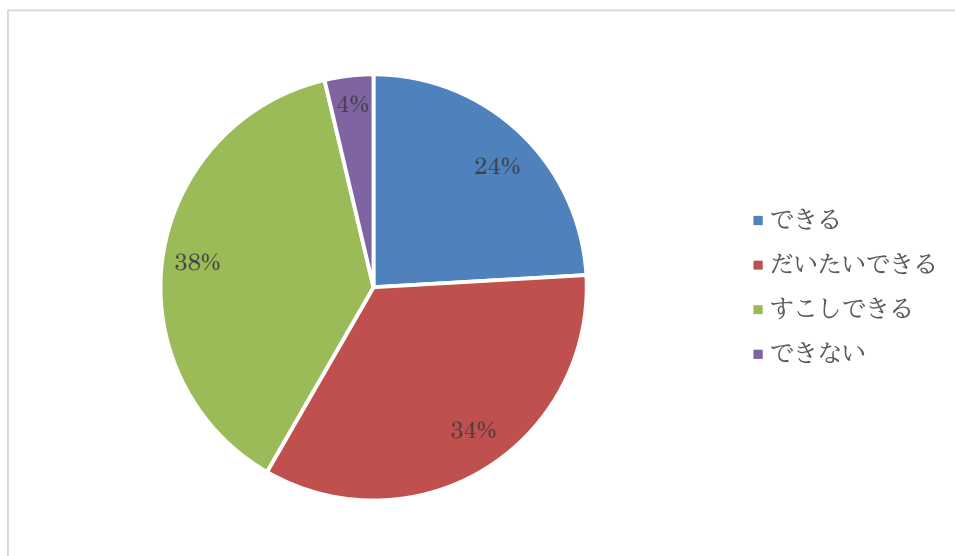


[Ⅱ] 日本語能力について

①会話



②読み書き



技能実習生については、来日前に日本語学習をしており、留学生も少なからず日本語を学んでいるため、いずれも日本語での簡単な会話は可能と思われる。

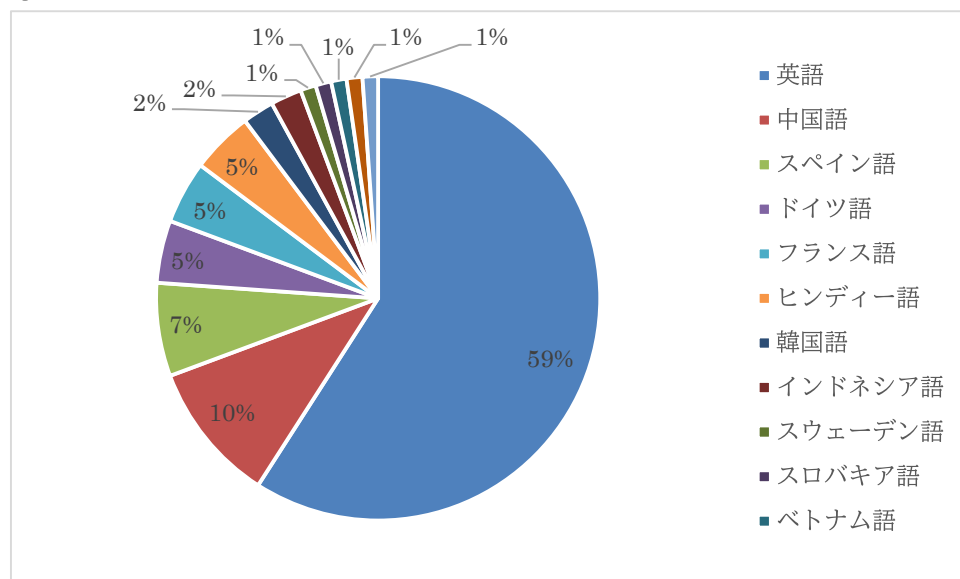
ただ、会話、読み書きともに、「少しできる」「できない」と回答している人が三分の一程度いる。自由記載には、もっと日本語を勉強したい、日本語が聞き取りにくい、漢字が

難しい、日本語を上手に話せない、日本人とのコミュニケーションが困難である等、日本語に関する困難が多く書かれていた。

また、方言が分からず、日常会話に使われている言葉と学校で学んだ言葉が全然違うとの記載もあった。

日本人側の工夫として、漢字にはルビをふる、簡単な言葉を使うなど「やさしい日本語」の使用や、ゆっくり話すということを心がけることで改善する余地はあるものと考えられる。

③母国語と日本語の他に分かる言葉

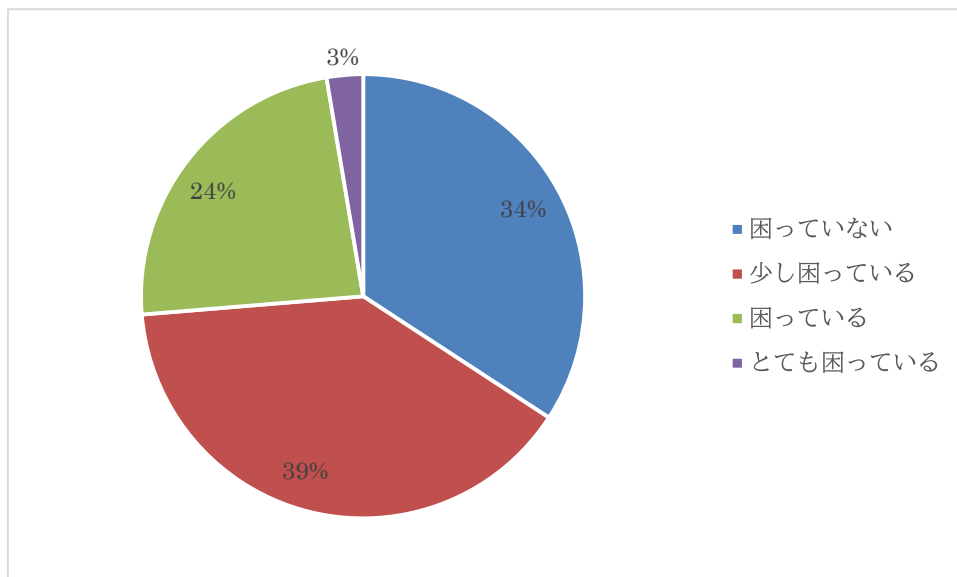


母国語と日本語以外の言葉では、英語を話せる方が多いことが分かった。そのため、英語表記についても効果があると考えられる。

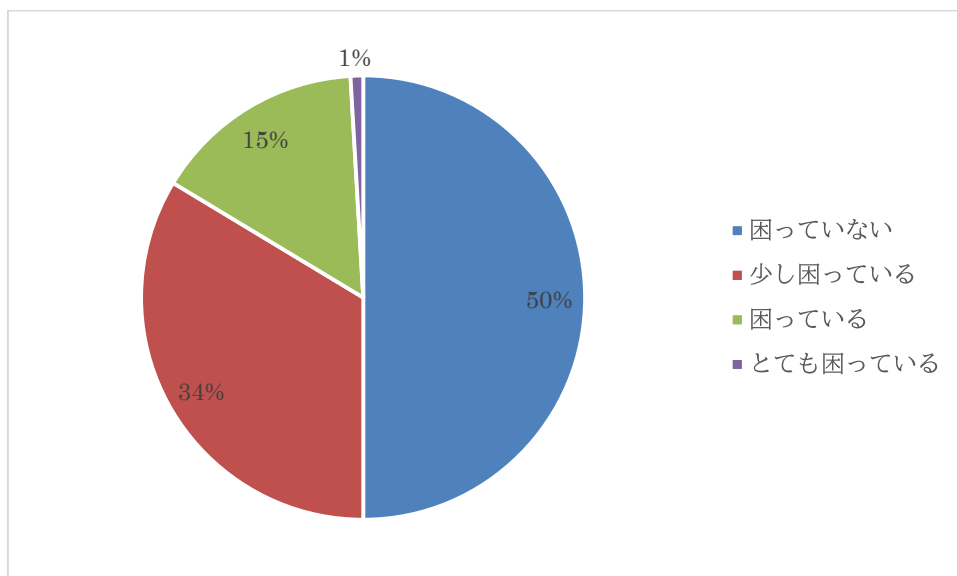
[Ⅲ] 各分野の質問

(自由記載を分野ごとに整理して記載しています)

1. 日本語を学習すること

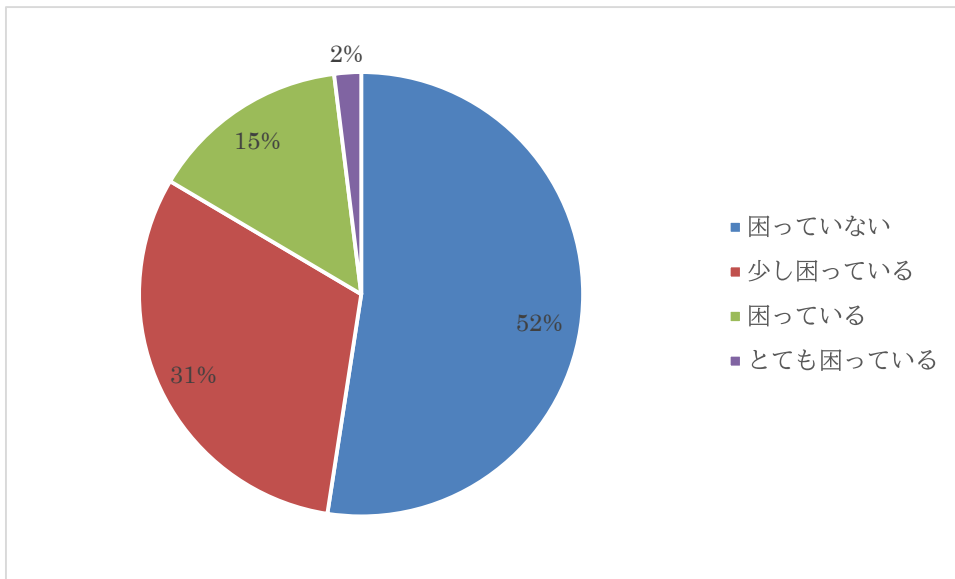


2. 仕事

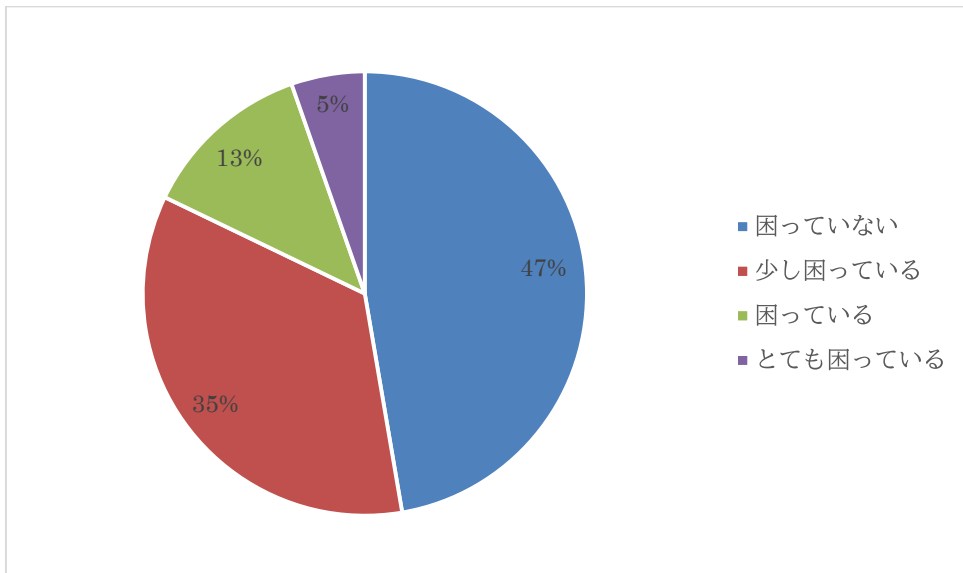


日本人と話をする時に話が聞き取れない、速く話されるとあまり分からない、もっと日本語を勉強したい、日本文化についてもっと学びたいが、日本語が不自由だと難しいという記載があった。

3. 学校の勉強

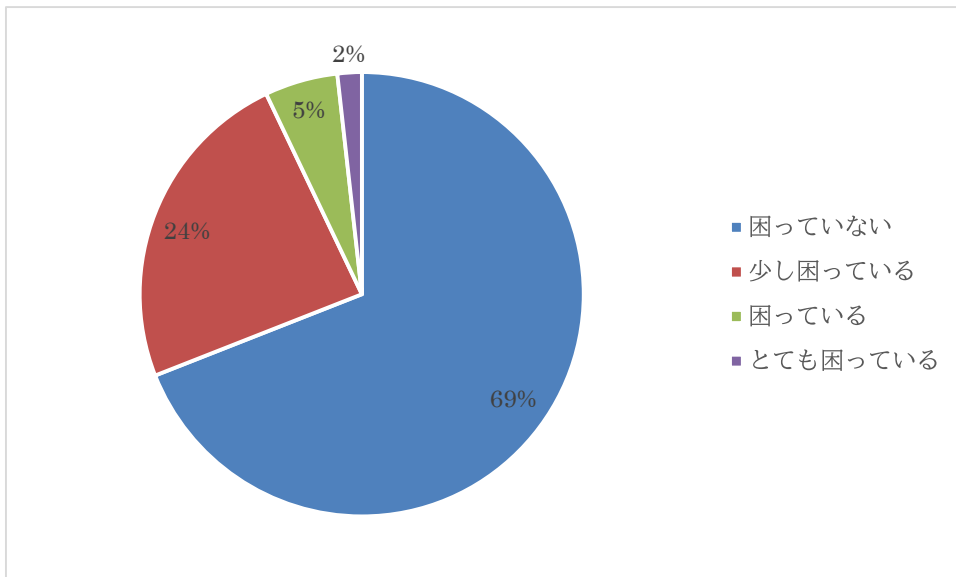


4. 日本人との関わり



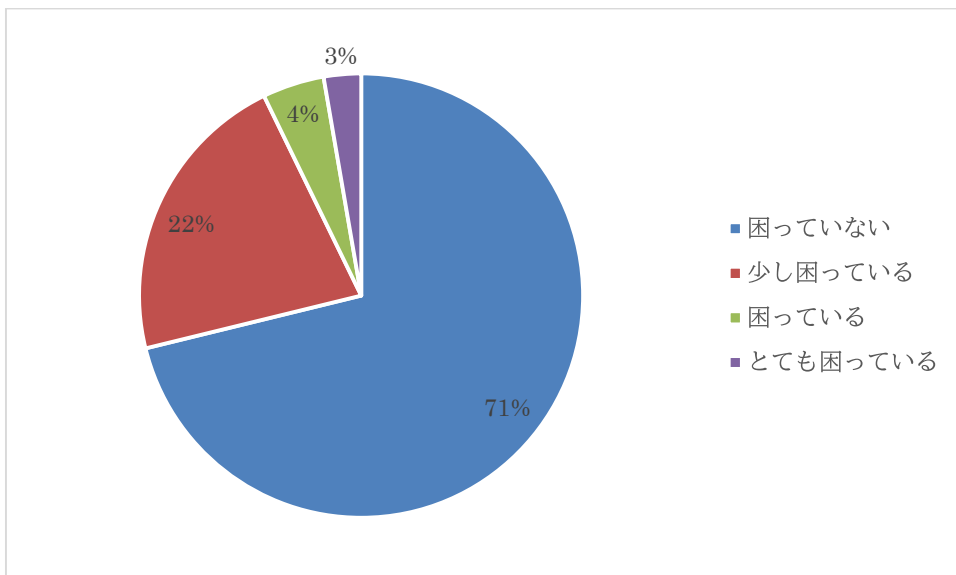
日本人と仲良くしたり、日本人の友達を作ったりするのが難しい、日本人とのコミュニケーションが難しい、という記載があった。

5. 買い物や食べ物



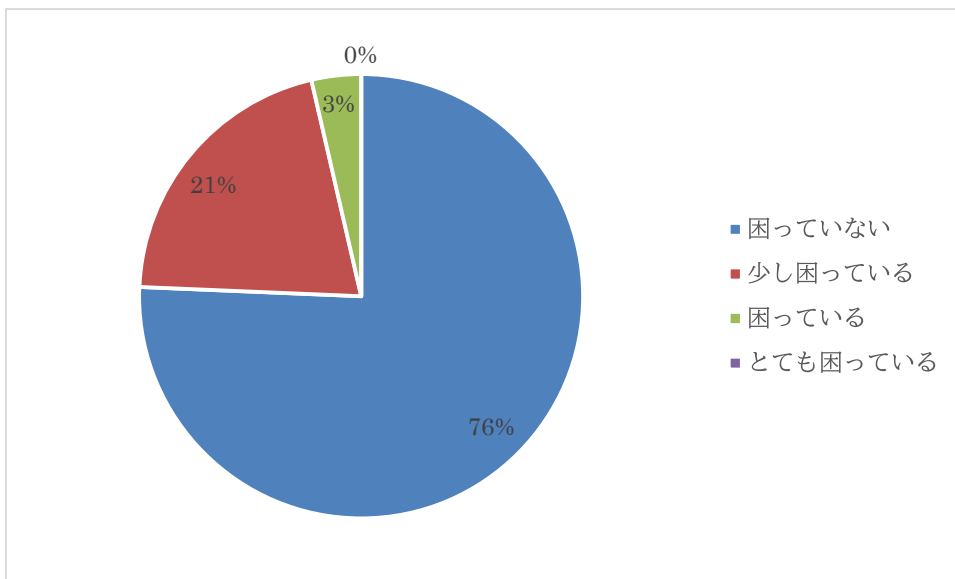
「困っていない」という回答が多数を占めているが、買い物をする時日本語のみの表示が多くて困ったという意見や、イスラム教徒に対応したハラルの食べ物を見つけるのが難しいという意見が懇話会にてあり、店舗等での表示の工夫が必要と考えられる。

6. ごみの出し方



ごみ分別については、多言語での案内も充実しているためか、「困っていない」という回答が多数を占めている。

7. 交通のルール

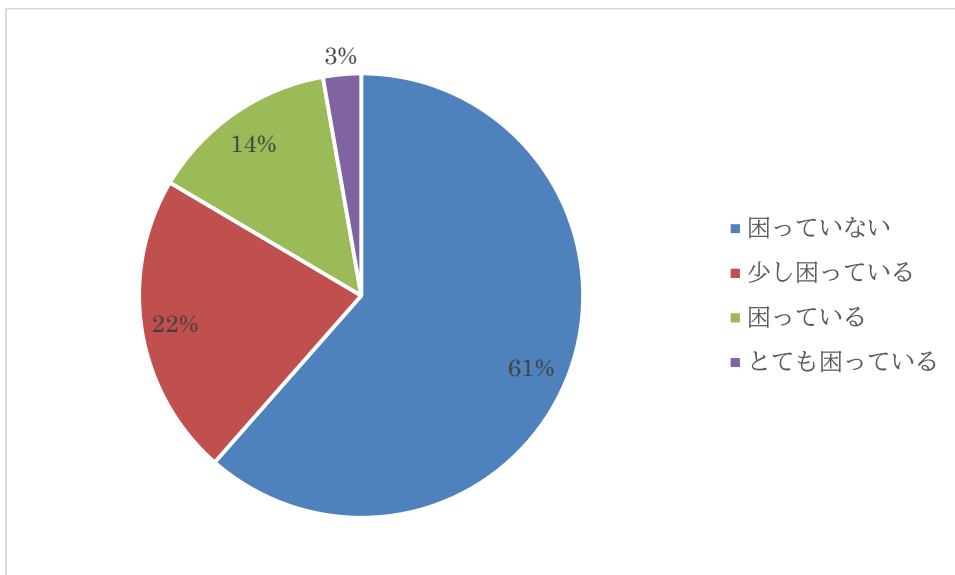


非常に困っているという状況ではないものの、自由記載には多数の意見があった。

交通機関が少ない、本数が少ないという、交通機関の不便さについてや、バス・電車の乗り方がわからないなど交通機関の利用方法についての記載があった。

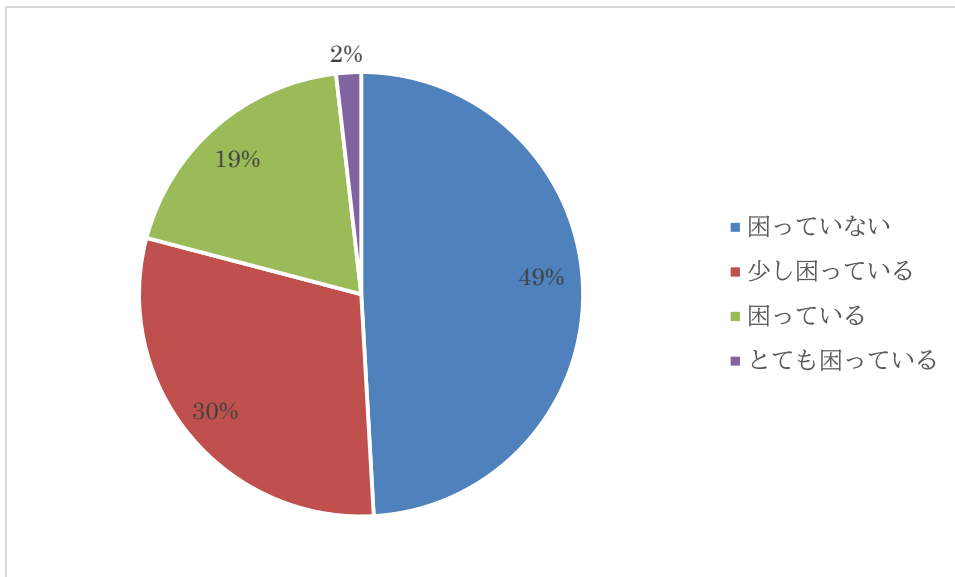
交通については、外国人への情報提供について検討の必要があると考える。

8. 社会のルール

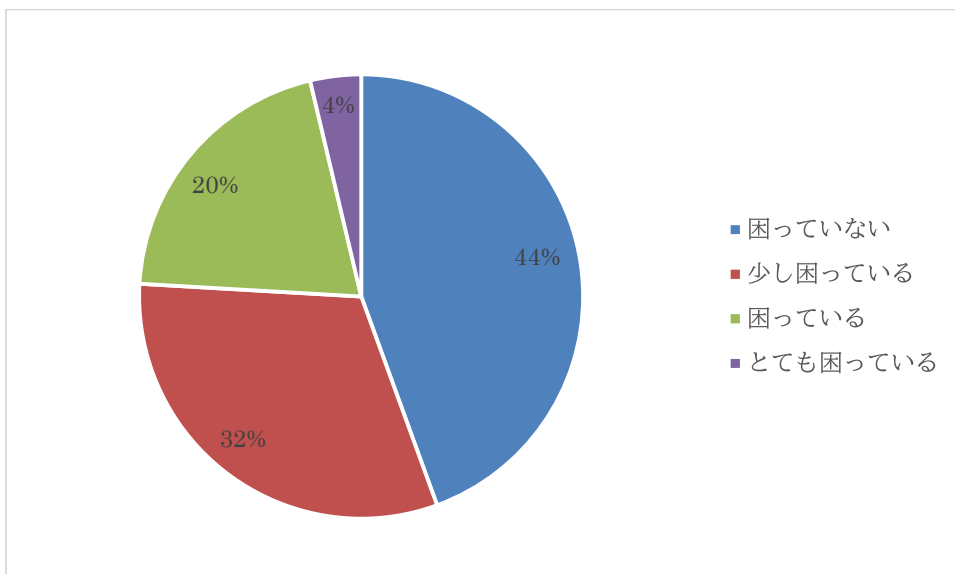


日本で一般的な方法と違う方法を提案した時に理解してもらえないとの記載があった。

9. 自然災害（地震・台風など）、火事、事故などの情報を知る方法

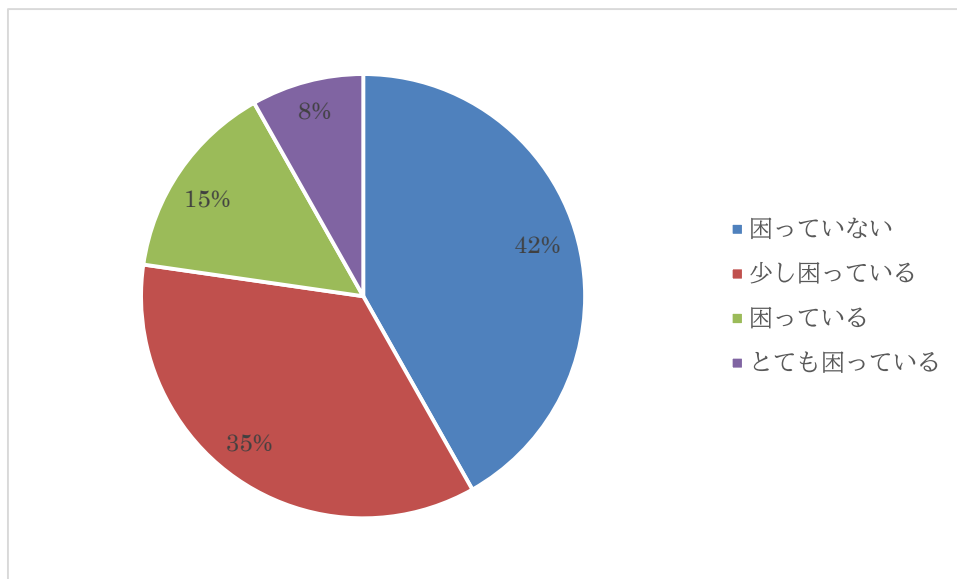


10. 災害のための備えについて



災害については、他の項目よりも「困っている」が多い結果となった。「何をすればいいかわからない」といった記載があったほか、日本と比較すると災害が少ない海外には防災訓練自体が存在しないことが多いため、防災訓練に参加した外国人市民からは、「訓練の内容すべてが新鮮だった」という話も聞かれることから、引き続き啓発を行う必要があると考えられる。

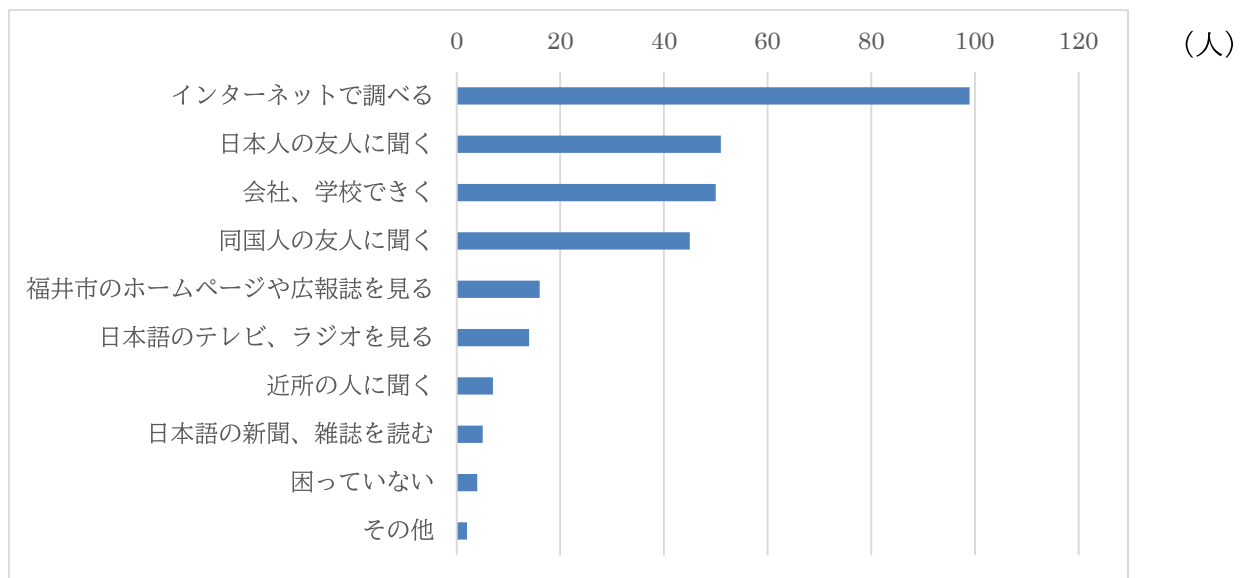
1 1 . 手続き（在留期間の更新、携帯電話の契約、部屋の賃借など・・・）



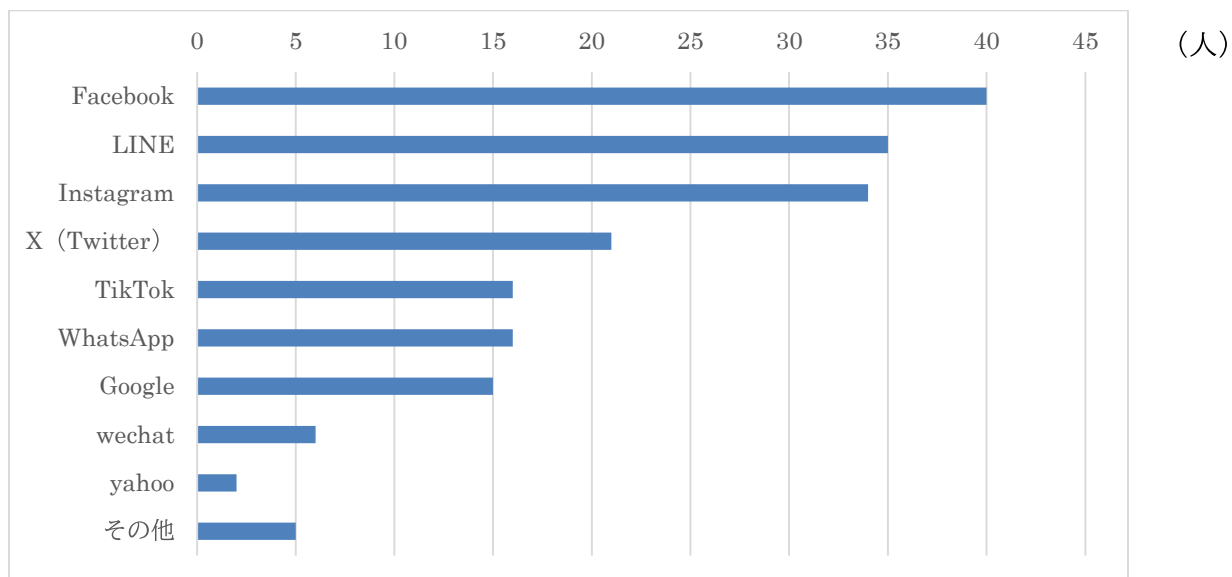
他の項目に比べ、「とても困っている」の割合が高い。税金が複雑、病院・交番の対応が難しい、といった記載のほか、電話での手続きの際に困難があるといった懇話会での意見もあり、やさしい日本語による各種手続きの情報提供や多言語による支援が必要と考えられる。

[IV] 情報収集の方法について

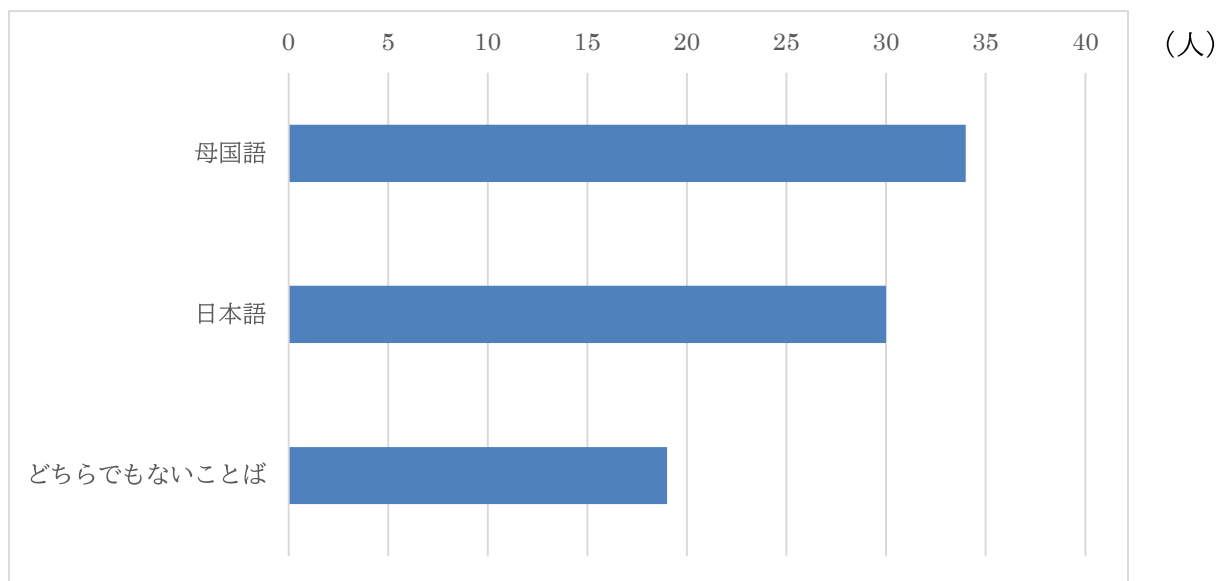
困ったとき、どうしますか？



よく見るサイト



インターネットは、どの言葉で見ますか？



インターネットでの情報収集が多数を占めている。その際、よく見るサイトとしては「Facebook>LINE>Instagram>X (Twitter) >TikTok=WhatsApp」であり、主な検索エンジンと主要 SNS を活用している様子が伺える。また、インターネットを使用する際の言語は「母国語>日本語>どちらでもない言語」であり、まずは母国語での情報収集をする割合が高いことが判明した。

そのため、多言語化した情報提供や、会社や学校、同じ出身地にて構成するコミュニティを通じた情報提供が効果的であると考えられる。